

皆さんの悩み、お聞きします

ケアラーの窓から Vol.10

子育ての悩みを「共有」

子育ての悩みを共有することはできていますか。小さなことでも抱え込まずに誰かに話し、同じ悩みを共感し合うことが大切だと思います。町子育て支援センター「スキップ」は、小学校入学前の子どもたちが親子で自由に遊べる施設です。日々の子育てのリフレッシュや、子育て中の悩みを共有して過ごしてみませんか。また、保育士・保健師の子育て相談も行っていますので、お気軽にお越し下さい。

【相談窓口】 町福祉課、町社会福祉協議会

【相談ダイヤル】 ※①～③の窓口は平日 8:30～17:15 です。

①子どもの相談 町子育て支援センター「スキップ」 ☎ 72-1280

②高齢者の相談 町地域包括支援センター ☎ 73-2255

③障がいの相談 町福祉課福祉・子育てグループ ☎ 73-2222

④ケアラーの相談 町社会福祉協議会（専用ダイヤル）
☎ 72-2121（月・水・金/午前）



町子育て支援センター「スキップ」

たむら あやの
田村 彩乃 保育士



町のケアラーの
最新情報はこちら

栗山公園 だより Vol.175

「ハローウィンのぬりえ広場」オープン

ハローウィンのぬりえを楽しんでみませんか？

簡単なものからちょっぴり細かなものまで、たくさんご用意してお待ちしております。好きなぬりえをチョイスして、カラフルに仕上げて下さい。出来上がった作品は、お持ち帰りできます。ぜひ、お家に飾ってください。



【期 間】

10月1日(土)～10月31日(月) 10:00～16:00

【受 付】

なかよし動物園

- ・クレヨンが無料で貸出します。みんなで仲良く使い、所定の場所に戻してください。
- ・雨天時は中止する場合があります。

【問い合わせ】

栗山公園案内所 ☎ 72-0706

指定管理者 株式会社たかはしダリア

【最新情報を簡単アクセス】

★栗山公園公式ホームページ
<http://t-daria.com/parktop>



～ 銀色に輝く「百合の花」～

栗山駅前の広場に、「ユリのモニュメント」と記された銀色に輝くオブジェがあります。百合は当然として、朝顔の花か。昔の蓄音機のラッパか。銀色に輝く摩訶不思議な造形作品です。

この作品の正式名は「不可視コード」。平成11年に制作され、よく見ると足元の敷石に、その作品名を記したプレートが嵌め込まれています。作品名の不可視は「肉眼で見ることができない」。コードは「規則・規定・符号」の意味です。

制作者は丸山隆さんで北海道美術活動の中心となって発展した「北海道美術協会」の会員でした。

石彫やブロンズ・鉄をはじめ、幅広い素材を用いて、目に見えないものを抽象的な形態で造形する制作姿勢は、美術界に少なからず影響を与えました。

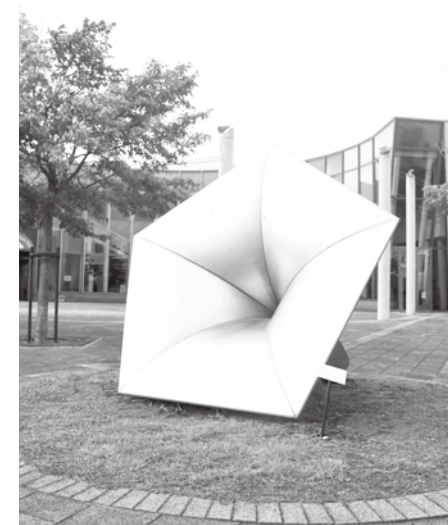
「不可視コード」は、その一連の作品名の一つで、このオブジェは丸山さんの遺作ともなる作品でした。

一度このオブジェを眺めながら、敷石に作品名のプレートを探してみてもいいでしょうか。

町史の 隠れ家 vol.3

研究員 青木 隆夫

町史資料調査室 ☎ 76-7820



▲ JR 栗山駅前の「不可視コード」

No.74

新しい力で栗山を元気に
地域おこし協力隊です



ものづくり DIY 工房運営支援員

おか ゆうき
岡 佑樹 隊員



協力隊の活動は
Facebook で発信中！

3 年間ありがとうございました！

こんにちは、岡です。9月いっぱい地域おこし協力隊として3年間の任期を終え、この広報くりやまが皆さんのところに届く頃には、「元」協力隊ということになっています。

ものづくり DIY 工房運営支援員として採用され、1年目は神奈川県鎌倉市で修行させていただいたほか、2～3年目には町内のあさひ工房で試行運営した「ファブラボ栗山」の活動を通して多くの方々と関わることができました。栗山町の地域おこし協力隊として様々な機会をいただくことで、大きく成長できた3年間だったと感じています。貴重な経験を与えていただき、ありがとうございました。

先月の広報くりやまで土山隊員からもあったとおり、我々2人が立ち上げた「合同会社ジモトファブ」を介して、引き続き「ファブラボ栗山」の運営に携わっていきます。また、「ファブラボ栗山」は来年1月のプレオープンに向けて、準備が進められている栗山駅近くの新たな拠点施設「栗山煉瓦創庫くりふと」に移転しますが、移転後も栗山町に貢献できるよう頑張りたいと思っていますので、よろしくをお願いします！



ファブラボ栗山β
Facebook



ファブラボ栗山β
Instagram